

# 第3回丸亀まちづくりラボ

令和5年8月5日開催

## ワークショップテーマ：協働が生まれるために必要なこと

信頼で築く丸亀市さわやか協働推進条例

第8条「市の責務」第9条「個別施策」に基づいて

現行の丸亀市協働実行計画に示されている施策について

自分の立場でできること、やってみたいことを考え、

それぞれの取り組みに必要な要素や仕組みについてグ

ループで考えていただきました。



基本施策	個別施策
(1) 情報共有、啓発活動	①情報の共有
	②情報発信・啓発
(2) 人材の育成	①学習機会の提供
	②活動・交流の場の提供
	③市民活動団体等の育成
(3) 活動基盤の整備	①活動拠点の整備・充実
	②相談窓口の設置
	③担い手の育成・支援
(4) 交流・連携の推進	①ネットワークの構築
	②参入機会の提供
	③大学等との交流促進

# 1 班 活動基盤の整備

①活動拠点の整備・充実 ②相談窓口の設置 ③担い手の育成・支援

## グループで出た意見



①地域の活動場所の開拓

- 夏休みなど長期休みに学校施設の活用（地域活動）
- 空き家の活用（小さな単位）

②活動の場の充実

- スポーツなど、マルタス以外の活動場所の確保
- コミュニティ内を知りつくす（ニーズを知る）

③地域の思いやニーズを知る

- 居酒屋併設のコミュニティセンター（思いを聞く場）
- 相談しやすい相談相手

④専門の相談窓口(コーディネーター)

- 専門分野（NPO）相談窓口 専門的コーディネーター
- 活動団体さんをつなげる

⑤人々の交流・話し合いの機会

- （同じ想いの方同士、やりたい事を実現し合える方同士）
- 想いをシェアし、同じテーマで話し合える機会
- 何かのテーマについて議論し合える場をつくる。

⑥若い世代の育成

- 若い世代の人材育成、つながりの場づくり（学生をターゲット）
- スポーツ専門家部活動の民間委託

## 2班 活動基盤の整備

①活動拠点の整備・充実 ②相談窓口の設置 ③担い手の育成・支援

### グループで出た意見

①マルタスの魅力発信

②交流の場所・機会の提供

③人と地域とのつながりづくり

④事業者との連携・協力

⑤コーディネーター・相談窓口

⑥市民活動・協働の情報共有

- マルタスの魅力発信
- SNSを使った情報発信
- 情報交換できる場所
- 市民座談会を企画してみる。
- 地域のセンターとの関わりをもっていく。
- 防災においてコミュニティセンターとの連絡調整を行う。
- 銀行のロビースペースを提供
- 金融、貿易に関する相談窓口の設置
- 担い手となる人を派遣するお手伝いをする。
- 地域と地域を繋げる
- お互いに必要なことを相談できる窓口
- 人と人との繋がりを保つために相談にのる（話を聞く）こと。
- 市民活動を知ってもらう機会を増やす。各種イベントの開催。



# 3班 情報共有・啓発活動

①情報の共有 ②情報発信・啓発

①HP・広報紙・SNS等で情報発信

②市民活動の情報発信

③相手に届く情報発信

④コミュニティの情報発信・共有

⑤人と人とのつながりづくり

## グループで出た意見

- 市HP・広報紙・SNS・LINEで周知。（イベント・活動紹介・想い）
- 歴史や食文化、美化活動など活動の情報発信
- 口コミで情報を伝える。
- パンフレットやチラシを配布する。
- 市民の耳まで届く情報。
- 取引先の企業の方に情報を共有する。
- 広報板の設置（コミュニティの情報発信・共有・交流）
- 横のつながりを大切にする
- 市職員、所長同士、生涯学習課
- 色々な人が参加しやすい機会を増やす。
- 丸亀市のイベントに参加する。



# 4班 交流・連携の推進

①ネットワークの構築 ②参入機会の提供 ③大学等との交流促進

## グループで出た意見

①対話と交流の場

- 色々な世代の人と話しをする。
- 集える場所づくり。
- 進んで祭りや行事に参加する。

②信頼でつながる人づくり

- 挨拶を進んでする。信頼を得る。輪をひろげる。

③生活スタイルの変化に対応

- 核家族化やコロナ禍など生活スタイルの変化に対応
- 課題の発見

④協働事業実施のための支援

- 市民として積極的に意見を提案
- どこへ、どのように、だれに???
- 協働事業でやりたい作業のリストアップ
- 協働事業実施のためのルール化
- 協働のパートナーのリストアップ



# 5 班 人材の育成

①学習機会の提供 ②活動・交流の場の提供 ③市民活動団体等の育成

## グループで出た意見

①参加しやすい研修の実施

②研修内容のニーズ調査

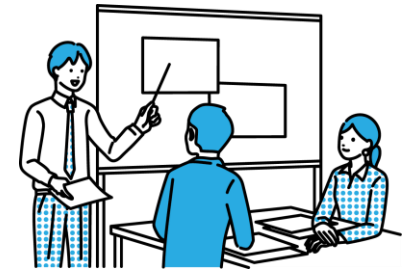
③想いや得た知識を伝える

④活動の場（提供・情報発信）

⑤交流の機会(世代・主体)

⑥市民活動の紹介(団体・内容)

- 参加する時間がない。時間が合わない。
- ニーズやTPOにあった研修（調査）
- 市民や市民活動団体の活動に参加する。
- 市民活動をしてみて感じたことなどの講座
- 自分の経験を伝える場を作る。
- 参加した研修内容をまわりに伝える。SNSで発信
- 講座や研修会会場、活動場所の提供
- 借りられる場所が知られていない。
- 若い人と仲良く、偏見なく交流する。
- 市民団体同士の交流、紹介
- 空家問題を考えるワークショップ（ゴミ問題・健康など）



# 6班 人材の育成

①学習機会の提供 ②活動・交流の場の提供 ③市民活動団体等の育成

## グループで出た意見



①研修や活動拠点の情報発信

②研修内容の充実

③交流の機会と相互理解

④地域づくりへの参加の声かけ

⑤活動の継続

- 市の提供する講座や研修の紹介。
- 担い手育成に関する講座等への積極的参加
- コミュニティセンター、マルタスの紹介、利用促進
- 興味のある分野のトーク&ワークショップ
- コミュニティと市（職員）との交流の場の提供。
- 市民や団体と交流し、リアルな声をきく。
- 良いところ（メリット）をたくさん言えるようにしておく。
- 自分の周りの人を誘い、巻き込む。
- コミュニティセンターへ来られた方にボランティアの声かけ。
- 協働活動への参加の呼びかけ。コーディネートしてみる。
- 現在の活動の継続。

## 第3回丸亀まちづくりラボ 協働が生まれるために必要なこと

ワークショップで各グループから出たご意見の要旨を3つの施策にまとめました。

### I 情報発信

- HP・広報紙・SNS等で情報発信
- 相手に届く情報発信
- 市民活動や協働の情報発信・啓発
- コミュニティの情報発信・共有
- 研修や活動拠点の情報発信

### II 活動基盤の充実

- マルタスやコミュニティセンターの魅力発信
- 地域の活動場所の充実・開拓
- 交流・活動の場の提供
- 専門の相談窓口・コーディネーター
- 市民活動団体の紹介

### III 相互交流・人材育成

- 交流の機会の提供・充実
  - ・様々な世代や立場の人との交流
  - ・人と地域のつながりづくり
  - ・地域づくりへの参加と声かけ
  - ・活動に対する思いや地域のニーズを知る
  - ・信頼でつながる人づくり
  - ・相互理解
- 研修の実施
  - ・研修内容の充実
  - ・研修内容の発信・共有
- 若い世代の育成
- 協働事業実施のための支援
  - ・協働事業の推進
  - ・担い手の育成
  - ・ルール化